

「第20回 アビリンピック徳島大会2022」関連記事
(令和4年9月17日)

【令和4年9月18日 日曜日 徳島新聞朝刊より】

作業の正確さ

障害者が競う

アビリンピック県大会

障害者が日頃培った職業技能を競い合う「アビリンピック徳島大会」(高齢・障害・求職者雇用支援機構徳島支部主催)が17日、徳島市のポリテクセンター徳



オフィスアシスタントの作業で正確さと速さを競う出場者
|| 徳島市のポリテクセンター
徳島

島と徳島ビルメンテナンス会館の2会場であった。

身体や知的、精神に障害のある16〜44歳の男女13人が出場。配布書類の封入や郵便物を仕分ける「オフィスアシスタント」、和文と英文で図表入りの文書を作成する「ワード・プロセッサ」など6部門で作業の正確さや速さを競った。

各部門の金賞受賞者は2023年に愛知県で開催される全国大会に出場できる。

(山口和也)

金賞に選ばれたのは次の皆さん。

ワード・プロセッサ || 吉田美幸(26)▽表計算 || 小倉佳浩(17)▽パソコンデータ入力 || 白川稔(32)▽オフィスアシスタント || 柏木なつみ(16)▽喫茶サービス || 高井進乃介(29)▽ビルクリーニング || 片岡徹(23)